

「第3回 冬の花山フェスティバル」 事業報告書

1 趣 旨 国立花山青少年自然の家を会場とし、各地の方々に体験活動の機会と場を提供することを通して、自然の家に対する理解を深めるとともに、家庭教育支援の一助とする。

2 事業の概要

(1) 期日 令和2年2月8日(土)～2月9日(日)

(2) 参加者

①参加対象 家族

②参加人数 308人(宿泊:84家族 大人140人 子ども168人)

3 企画運営のポイント

- (1) 雪不足のため、様々な状況を想定してプログラムの準備をした。雪がなくても参加者が満足できるように宮城県立自然の家の協力を仰いで屋内クラフトを行った。
- (2) 仙台と石巻発着の送迎バスを用意し、(車の運転に自信のない家族が)参加しやすい環境を整えた。
- (3) そり、チューブ滑りでは、全員にヘルメット着用を促し、転倒による事故防止に努めた。
- (4) 部屋割りの際には、家族構成や年齢等に配慮して配室した。

4 日程

		13:00 14:00		17:30		19:00		22:00	
2月8日(土)		受付	開 会 行 事	雪上活動(16:30まで) ・そり、チューブすべり ・ハイキング ・キッズパーク(幼児限定) ・宝探し ・クラフト		夕食(19:00まで) 入浴(21:50まで) フリータイム ・ナイトハイク ・星座観察 ・作ってあそぼう ・ボランティアお楽しみ企画		就 寝	
		6:30	7:15	9:00		12:00 13:00			
2月9日(日)	起床	朝 の つ ど い	朝 食 ・ 清 掃	雪上活動(前日と同じプログラム)				出 発	

5 主な活動内容



「そりすべり」



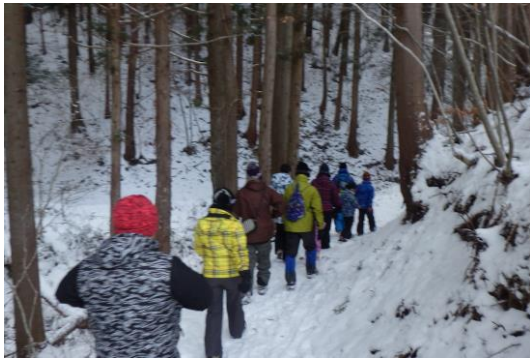
「チューブすべり」



「キッズパーク」



「宝探し」



「ハイキング」



「焼きマシュマロ」



「クラフト」



「ボランティア企画」

6 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：80.5% やや満足：19.5% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・今回のようにバスがあると参加しやすいです。同じようなファミリーと相部屋でストレスなく寝ることができた。子ども達も仲良くなれたので楽しい思い出ができました。
- ・スタッフやボランティアの人達が、みんな明るく優しくて気持ち良かった。あいさつもすすんでくれるし、「どうしました？」など声をかけてくれるので、困ることなく活動し、楽しめました。
- ・初めて参加してイベントが盛りだくさんで、あっという間に一日が過ぎました。大きい雪だるまを作ったり、焼きマシュマロを食べたり、沢山思い出ができました。

(3) 成果

- ・フェスティバル準備を進める中で、火おこしや冬のネイチャーゲームなど、新しいプログラム開発をすることができた。
- ・屋内プログラムで協力いただいた県立自然の家との連携が深まった。
- ・冬季に300人の参加者が花山を訪れたことは、今後の事業運営に活かせる結果になった。

(4) 課題

- ・事業運営、安全管理の面から、スタッフの人員を増やす必要がある。

担当：事業推進係 田村徹平